

# ★2 学年通信★ No.11

福山市立新市中央中学校  
2021（令和3）年12月7日（火）

## Try Again! ～認めあい・支えあい・高めあい～

### ～南紀！和歌山の旅～



#### 【 修学旅行を振り返って 】

11月28日（日）～11月30日（水）にかけての2泊3日の修学旅行が終わりました。天候にも恵まれ、大きなトラブルや事故も起こることなく、中学校生活の思い出づくりに、ふさわしい旅行になったのではないのでしょうか。出発の時には言いましたが、このような旅行を実施できたのは、旅行会社の方々や現地の方々のサポートとみなさんの保護者の協力があってこそです。今回の旅行で支えてもらったことへの感謝の気持ちを忘れないください。

また、学年集団として長い時間行動をともにする旅行でもありました。実行委員が考えた目標を基に、時間に余裕をもって、多くの人たちが自分でよく考えて動けた旅行だったと思います。こうした姿勢は、ぜひ、今後の生活にも生かしてほしいと思います。ただ、大きなトラブルはなかったですが、何度も同じ内容の指導をした生徒がいたり、サポートをして下さっている人たちへの配慮に欠いた行動が少し見られたりした部分は残念なところでした。そこが、みなさんの甘さだと思います。そういった部分を、自分たちの前向きな言葉がけて修正していける学年になれるよう、もっとレベルアップしていきましょう。

2学期は、残りの期間に合唱大会や生徒会選挙もあります。いよいよ、この2年生が、学校の中心となっていきます。また、進路実現へ向けた取組も始まっていきます。ここから、3年生へ向けてはあっという間です。常に先を見据えて動けるようにしていきましょう。

## ～修学旅行のしおりより～

普段、近畿地方にはいかないし、コロナ禍でもっと外出しなくなったので、今回の修学旅行ができてとても嬉しく思った。最初、忘れ物はないか、時間は見て行動できるだろうか。服は足りるかなど、とても心配していたが、無事に終わったことを振り返れば、とても楽しい修学旅行だったと思う。修学旅行を通して、ガイドさんたちの話を聞いて、その土地の歴史、なぜ、あの寺には鐘がないのか、なぜこの土地では、梅やミカンの栽培が盛んなのかについてよく知れた。また、海、星空、浜などがすごくきれいで、自然豊かで感動した。白良浜の砂は、輸入ではあるが美しく、さらさらで、とても楽しくみんなと遊べた。干置敷も、海のそばで風も強くて、たくさんはしゃぎまわった。普段、自分たちが目にしない光景だから、すごく楽しくて、もっとその場にいたいって思うくらい、いい思い出になる修学旅行だった。時間の使い方、お金の使い方も、いつもの自分より良くできたので、たくさんものを見たり買ったりできた。このことを、今後の集団行動や何か大きな場面でもちゃんとできるように頑張りたい。



塩づくりでは、海水を熱してペースト状みたいにしていって。その時に、鍋の周りについた白い物を、いろんな物質でそれを取り、混ぜながら塩を作っているんだけど、簡単そうに見えて難しい作業でした。お守りづくりでは、その地域の昔あったことがそのまま大切にされていて、とても誇らしいなと思った。串本は、地元の伝統などでこのようにPRしているので、僕たちも地元の伝統などをPRしていけたらなと思った。

熊野古道では、石畳を上っていくのが楽しかった。樹齢100年以上の木などが多くあり、大自然を感じた。木々に囲まれていたので、とても涼しく、楽しかった。途中、1町・2町・3町・・・などがあり、「6町までもう少し！」と楽しみながら登ることができた。那智の滝の近くへ近づいていくと、迫力があり、水圧がすごかった。岩にぶつかって白波が見えると、とても綺麗だった。滝の近くではお祭りも行われるようなので、一度は見てみたいと思った。



カヌーは2人で同じ動作を同じタイミングでしないといけないから、大変だなあと思っていた。漕ぎ方は基本的に6種類ぐらいあって、それを使い分けながら行った。逆流では、漕がなくても自然とすごいスピードで流されたり、動かすのが難しく、他のカヌーにぶつかったり、石にぶつかったりしたけど、それがハラハラドキドキして楽しかった。2人で「右!」「左!」「うしろー!」って言い合いながら協力してこくことができた。時々、前後が反対になって、「ギャー」と叫んだり、バランスを崩して落ちそうになったりしたけど、いったんおちついて、2人で声を掛け合いながらできたから、とっても楽しい思い出になった。



今日はアドベンチャーワールドに行って、友達と終始回りました。まずはじめに、パンダを見ました。やっぱりみんな集まっていて、写真を撮ってもらいました。イルカのショーも見ました。とても大きなスクリーンに私たちがうつってとてもびっくりしたけど、楽しすぎました。カバさんのバーガーを食べたり、たくさんキーホルダーやお土産も買えて、帰る寸前にはパンダのクッキーサンドアイスも忙しく食べて、すごく達成感に包まれました。

目標の「集団行動～楽しむ・知る・伝える」を意識して2泊3日を過ごした。「楽しむ」では、観光スポットやアドベンチャーワールドで、友達と仲良く笑顔で楽しむことができた。「知る」という場面では、バスガイドさんの話を聞き、大阪や和歌山の伝統的な建物や広島との違いを知ることができた。そして、ホテルでの過ごし方や、素早く行動することの大切さなど、自分に足りていない細かい知識を修学旅行で知ることができた。「伝える」という場面では、家に帰って、修学旅行の思い出話を家族にしたり、「和歌山の〇〇がめっちゃ綺麗だったんよ!」「みかんの木が一面に広がってやばかった!!」など、和歌山の景色をたくさん伝えることができた。でも、バスに向かう集合が遅かったり、食事のマナーなどが全体として守れていない部分があった。だから、「コロナ禍でも修学旅行ができる感謝の気持ち」や「コロナ禍での修学旅行は何を守らないといけないのか」をしっかりと考え、これからの合唱大会などに向けて、みんなで仲良くしていきたいです。みんなと修学旅行に行けて本当に楽しかったです!ありがとうございました。